

エイジレス・ライフ実践者 及び社会参加活動実践団体について

内閣府では、年齢にとらわれず自らの責任と能力において、自由に生き生きとした生活を送る高齢者や、社会参加活動を積極的に行っている高齢者の団体等を、毎年広く紹介しております。この事業は、平成元年から実施しており、今年度で20回目となります。高齢者が年齢にとらわれず、自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること（エイジレスライフ）が重要であり、また社会とのかかわりを持ち続けながら、楽しく充実した生活を送ることが重要です。しかしながら、高齢者の社会参加は、未だ十分ではない状況にあると考えられます。

このため、高齢社会における生き方として、エイジレス・ライフを実践している事例及びグループで就労や地域社会活動などの社会参加活動を積極的に行っている事例を広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生き方の参考に供するものです。毎年、およそ40個人30団体が表彰され、今年度は岩手県からは1個人1団体が表彰されます。高齢者はもはや「支えられる人」ではありません。日本は、世界各国が経験をしたことのない「前例のない高齢社会」を迎え、この状況下において高齢者は「高齢社会を支える貴重なメンバー」であります。長年培った知識と経験を活かし活躍できるような社会を実現する取り組みが必要となっています。

エイジレスライフ実践者、社会参加活動事例集



**いきいき人生
～高齢社会をアクティブ
に生きよう～**

平成19年度版
発行者：内閣府



**いきいき人生
～高齢社会をアクティブ
に生きよう～**

平成18年度版
発行者：内閣府

高齢者社会貢献活動サポートセンターにて閲覧することが出来ます。お気軽にお問合せ下さい。

あとがき

今回取材で訪れた2団体の皆様、お忙しい中、取材に応じただきありがとうございました。どの会員さんも生き生きと、まさに「エイジレスライフ実践者」という印象を受けました。そんな笑顔に元気をわけてもらった取材でした。



発行／岩手県保健福祉部長寿社会課
〒020-8570 盛岡市内丸 10-1
Tel:019-629-5432 Fax:019-629-5439
企画・編集／岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅通 1-7-1 アイーナ 6F
Tel:019-606-1774 Fax:019-606-1765

かだる

2008.11
秋号

～シニアの社会参加推進情報誌～



PHOTO:「滝沢村の歴史を語る会」

滝沢村には有形・無形の文化財をはじめ、史跡名所が数多く点在しています。この地に伝わる文化や歴史を学習し、後世まで伝承していく活動をしています。悠久の歴史に思いを馳せている会員さんの目はキラキラと輝いていました。

P2-3 高齢者社会貢献活動 サポートセンターって？

P4-5 拝啓、頑張っています
～活動団体紹介コーナー（県北地区）～
I「子育て支援 コスモスの会」（久慈市）
II「傾聴ボランティア こころ」（久慈市）

P6 お知らせ
エイジレスライフ実践者及び
社会参加活動実践団体について

高齢者社会貢献活動 サポートセンターって？

高齢者社会貢献活動サポートセンターは、少子高齢化の進展に伴って、高齢者、障がい者、子育て世代等の生活支援の必要な人が増加する一方で、健康で活動意欲のある高齢者も増加しています。そんな中、高齢者の方を「支えられる人」から「支える人」へと固定概念を転換する必要があります。そんな中、高齢者の方を貴重な「マンパワー」ととらえ、多様な社会貢献活動への支援をする目的で活動しています。また、介護等が必要になったときも、「安心して暮らし続けることができる」「ご近所で支え合う」地域コミュニティの実現を目指した取り組みも行なっています。

<市民活動を支援します!>

県内各地に出向き、活動希望者相談、団体立ち上げ支援、意見交換など活発な活動になるよう支援して行きます。



<セミナーを開催します!>

シニアの社会参加に関する事、認知症や地域福祉に関する事などに対するセミナーを開催します。



<皆さんの情報を発信します!>

皆さんの地域にお邪魔して、ホームページや情報誌などで、皆さんの取り組みをドンドン紹介していきます。



<相談対応いたします!>

スタッフが常駐していますので、運営相談、資金に関する相談等を受け付けています。

<助成金の事務をしています!>

「ご近所支え合い活動助成金」の事務・サポート業務を行い、申請書の書き方や説明会を県内各地で実施しています。

<高齢者社会貢献活動サポートセンター>

住所:盛岡市盛岡駅西通1-7-1アイーナ6階
電話:019-606-1774 Fax:019-606-1765
Email:koreisha@iwate-npo.org
利用時間:9:00~16:00(アイーナ休館日、年末年始除く)



各施設のご案内



県民活動交流センター

男女共同参画センター青少年活動交流センター
環境学習交流センターNPO活動交流センター
国際交流センター子育てサポートセンター
高齢者活動交流プラザ
(高齢者社会貢献活動サポートセンター)

県民活動交流センター

盛県民活動交流センターはアイーナの5,6階に入居している各センターにより構成されています。NPO、男女共同参画、青少年活動、高齢者活動、子育て支援、国際交流活動、環境保全活動など様々な分野の活動をしている人たち、またこれから活動使用としている人たちのための拠点となり、総合的な支援を行っています。

高齢者社会貢献活動サポートセンター事務所

6階の高齢者活動交流プラザ内に相談員が常駐し、ここで皆さんの相談対応をしております。またこのカウンターは、5,6階の入居施設で構成されている「県民活動交流センター」の総合カウンターにもなっており、アイーナ施設案内や6階の貸出施設・貸出備品の受付も行っています。



団体活動室(無料)

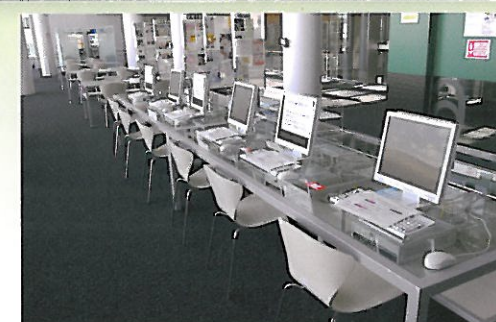
この施設は、打合せや健康・生きがい活動の場として自由にご利用できます。会員や仲間との交流やこれからの経験や知識を高める活動拠点としてお気軽にご利用下さい。

(ご利用は団体登録の上、事前予約が必要です。フリースペースは申込不要です)



展示コーナー・パソコンコーナー

各市民活動団体のイベントやセミナーのポスター・チラシ、会報やパンフレットを無料で展示できます。またボランティアや市民活動情報をインターネットで調べることができ、情報収集の場としてご利用できます。



作業室

輪転機、製本機、紙折り機、裁断機などがそろっており、情報提供のための資料作りが出来ます。情報発信や情報共有のためのチラシや機関紙などは団体の活動において重要な情報媒体です。お気軽にご利用下さい。(団体登録の上、ご利用下さい)



拝啓、がんばっています!

子育て支援「コスモスの会」(久慈市)



子育て支援「コスモスの会」は2003年に設立。きっかけは、県主催の子育て支援のセミナーを受けたこと。「受ただけだともったいない。何か社会の役に立たせたい。」(中山孝子代表)と一念発起し、仲間を募り、会を発足。以来、久慈市の乳幼児とその母親、学童を対象として活発に活動しています。

主な活動として市内の子育て支援センターで子育て中の親を対象に、育児不安を解消するための「子育てサロン」を開催しています。

取材に訪れたこの日も、20組近くの親子が集まり、乳幼児の身体測定を行っていました。

大声で笑う子、お母さんと離れて泣いてしまう子と様々な赤ちゃんがいるなか、中山さんをはじめとする会員の皆さんは、手馴れた様子であやしていきます。「元気な笑顔を見ると、それが力になる。」(中山代表)と疲れたそぶりは一切ありません。

また、核家族化が進む家庭や転勤族にとって、このサロンはお母さん同士の交流の場にもなっています。普段言えない事や聞けない事など、同じくらいの年齢の赤ちゃんをもつお母さん同士が情報交換することにより、育児の不安を解消でき、さらにここで知り合い今でも友人関係を築いている親同士もいるとの事。

子育てをはじめとして、現代社会は様々な悩みをもつ方たちが増えています。その方たちの悩みを解消するうえで大切なことは、「環境を整えること」です。地域の課題を的確に捉えたコスモスの会が作り出す「環境」は、子育てに悩む親にとっての頼りになる「オアシス」となっています。



傾聴ボランティア「こころ」(久慈市)

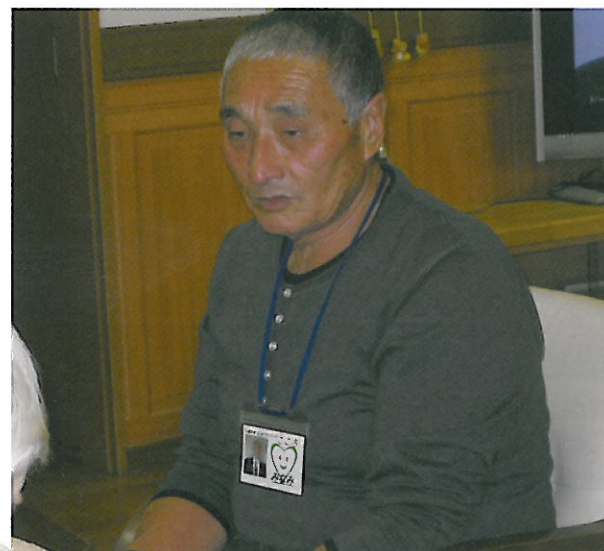


皆さんは「傾聴」という言葉を聞いたことが有りますか?「きく」という言葉にはいくつかの意味(あるいは漢字)があります。しかし「聞く」と「聴く」では同じようにみえても、意味は変わってきます。一般的に、「聞く(hear)」は耳で音や声を感じ取ることを意味し、「聴く」(listen)は耳を傾け、注意して聞き取ることを意味します。傾聴ボランティア「こころ」さんの活動は、高齢者やその家族、その他悩みを抱えている方等に対し、秘密を守って、ひたすら話を聴くことにより孤独や寂しさを解消し、「こころの健康づくり」を目指しています。

2006年、久慈保健所主催の傾聴ボランティア養成講座をきっかけとして会を発足し、久慈市を中心に普代村、野田村、洋野町の施設を訪問し傾聴活動を行っています。また、県内初の傾聴ボランティア団体であることから、県内外の関係団体から講師依頼が殺到し、忙しい日々を送っています。

「傾聴活動による癒しの効果をもっと理解してほしい。その為には行政との連携、後継者の育成が必要。」(高橋和郎代表)「こころ」では積極的に自主研修、情報交換会等を行い、会員の傾聴活動のスキル向上を目指しています。

近年の高齢化に伴い、認知証や高齢者のうつ、引きこもりが問題となっており、それを受け、全国的に傾聴活動の重要性が高まっています。「人は誰か話を聴いてくれる人がいることで、自分を見つめなおすチャンスを作ることが出来る」(高橋代表)穏やかな口調の中にも、使命感で満ち溢れた目が印象的でした。



次回は…
県南地区を
特集します!!